

地域協働学校だより No. 5

平成30年9月14日
新宿区立市谷小学校
地域協働学校運営協議会

「地域協働学校運営協議会からのご報告です」
新学期が始まり校内に子どもたちの元気な声に戻りました。
今回は夏休み中のニワトリやお花や花壇のお世話の様子を
ご紹介いたします。

○ニワトリのお世話

今年市谷小にやってきたチロルとトワ。すっかり学校になじみ、
鶏舎に近寄ると何やら声を出して挨拶してくれます。子どもたち
のお世話のおかげか、来た時より大きくなっている気がします。

長い夏休み！ 飼育栽培委員の子どもたちは、夏休みも交代で
お世話の当番を務めます。お当番の仕事は以下の通りです

手順

- ①まず、一旦小屋から小さなカゴに移す。その間に小屋の中
を掃きゴミを取り除きます。
- ②水入れを洗い、新しい水を汲み、エサ入れにエサをたっぷ
り入れます。卵を産んでいれば取り出します。
- ③ここでニワトリをカゴから小屋の中に戻します。

この方法ですと、委員の子どもが1人でもできるようです。学校のある期間の当番は授業があるため、
この一連の作業を10分間くらいで済ませなくてはなりません。中にはちょっとニワトリが苦手な子も
いるようですが、みんな役割をしっかりとやり遂げていて素晴らしいと思います。子どもたちが当番を
できない日には、主事さん方等も協力してくださいました。小屋の掃除の間、校庭をのびのびと散歩させ
てくださったり、時には青菜を細かく刻んでエサをやったりと愛情たっぷりで関わってくださいました。

この夏はとりわけ猛暑でしたので、ニワトリたちの体調も心配しましたが、何とか乗り切ることが
できました。皆さん、ご協力ありがとうございました。そして本当にお疲れさまでした。



「狭いけど少し我慢してね！」



施設管理員多々良さん直筆の絵

○お花の水やり

今年も例年どおり、夏休み限定の「夏の水やりボランティア」を募集しました。夏の間は水やりが毎日必要になります。今回も35人ほどの応募があり、毎日2～3人の方で当番活動を行うことができました。

通年ではお仕事などの関係などでハードルが高いと感じられている方でも、夏の厳しい暑さ中の水やりには、メンバーの大変さを気遣い、快く協力していただきます。本当にありがとうございました。



平日は8:30～、土日は9:00～と少し早めの時間帯で水やりを行う理由は、日中の最高気温の時間では撒いた水が高温になり、草木にダメージを与えてしまうことになるからです。活動する人間にも辛いですよね。今年の夏は猛暑の厳しい中、校庭・側道・大久保通りの水やりをしていただきました。夏休み期間なので、在校生や小さいお子さんも一緒に参加してくださっている光景もありました。今年はニワトリがいるので、飼育栽培委員の子どもたちがお世話をしている場面に遭遇することもあり、気持ちよさそうに校庭を散歩するチロルやトワをながめていました。おかげさまで、いきいきしたお花で新学期の子どもたちを迎えることができました。本当にありがとうございました。



動物も植物も生き物です。生き物のために一生懸命お世話のできる市谷小の子どもたち。
また、必要な時、快く協力くださる保護者の方々、主事さん・施設管理員の方々・・・たくさんの方々によって市谷小学校の生き物は守られています。 🐣 🌸 🐣 🌸 🐣 🌸 🐣